

SCR 活用の留意点等

2024.10.28

東北大学 医学系研究科
公共健康医学講座 医療管理学分野
教授 藤森研司

本データは令和4年度診療分の National Database から作成したものである。National Database は内閣府が第三者提供として申し出を行い、共同研究者である当教室で集計を行った。それぞれの集計粒度で1年間分のレセプト総件数を集計し、地域の人口規模、年齢構成の差を吸収するため、性・年齢調整済みのスコア (SCR、standardized claim-data ratio) として算出している。

○ SCR の原理

SCR はレセプト数を性・年齢調整したスコア (実測値/期待値) であり、100 が全国平均の医療提供状況を示し、100 を上回ると性・年齢調整後の人口規模に対して当該の医療提供が多い、100 を下回ると少ないことを意味する。人口規模、年齢構成を吸収して、他地域と直接の比較ができる指標である。

ただし、分母となる性・年齢調整のための人口データは、その地域 (都道府県別、二次医療圏別、市区町村別) であり、分子となるレセプト数はその地域の医療機関で算定されたものである。従って、周辺地域からの流入が多ければ分子は大きくなるため SCR は高めとなり、流出が多ければ分子は小さくなるため SCR は低めとなる。その地域の住民がどの水準で医療を受けているかではなく、その地域の医療機関がどの水準で医療を提供しているかの指標とも言える。人口は令和5年1月末の e-Stat のデータを使用した。

真の医療提供の多寡は流入出を加味して判断しなければならないが、現時点では地域間の流入出を全年齢において把握する情報がない。国保、後期は地域保険なので被保険者の市区町村あるいは二次医療圏への割り付けが一定程度可能であるが、被用者保険は地域情報がない。これは、今後、レセプトに患者居住地の郵便番号が記録されることで解消する期待がある。NDB では R04 年度分から収集時に郵便番号が付加されているようだが、提供はされなかった。

SCR は当該の医療行為あるいは薬剤のレセプト数から作成しており、医療行為の回数や薬剤の数量からではない。従って、月当たりの回数に地域差があれば、数量ベースとは若干の差が生じうるが、経験的には1%以内の差である。

○ 対象データ

集計対象とした医科保険が使用された電子レセプトは、令和4年度新領分の医科 (外来、入院)、

DPC、調剤である。紙レセプトの医療機関、公費単独(生活保護等)の患者分は含まれていない。この制約は十分に留意する必要がある。ちなみに支払基金によれば令和5年3月診療分のレセプトでは、400床以上の病院で1.7%、400床未満の病院で1.1%、診療所で1.1%、調剤で0.2%が電子化されていない。

国保連合会及び支払基金からNDBに提供されるレセプトは一次審査後、すなわち審査機関における査定後のものである。その後には保険者査定が行われ、あるいは再審査請求で復活の場合もあるが、それらは反映していない。各医療機関においてどのような医療が提供されたのかというよりは、一次審査レベルで支払いが認められた医療は何かの指標、とも言える。

DPC/PDPSのレセプトでは包括範囲を記録したCDレコードも分析対象としている。従って、包括範囲の医療行為(薬剤、検査、画像診断等)もSCRに反映されている。DPC/PDPSにおける入院基本料はCDレコードにも記録されないが、当該医療機関の当該月の入院基本料を出来高レセプトから求め、入院基本料に相当するデータを作成し、SCRの集計に利用している。従って入院基本料のSCRではDPC/PDPSの患者も含まれている。この点はNational Databaseのオープンデータと抽出方法が異なる。

一方で、アルブミン尿等の外来診療料に包括化される医療行為、地域包括ケア病棟や療養病棟における包括範囲の医療行為、薬剤等はもともとレセプトに記載されないため、集計対象外である。この意味でも何が提供されたのかではなく、支払いされたものは何かの指標とも言える。出来高の診療報酬点数で何が包括化されているのか、十分に知る必要がある。SCRの正しい利用には医科点数表、調剤点数表、DPC制度の理解が必要である。

○ 診療行為の粒度

診療行為についてはレセプト電算コードごとの集計に加え、医科点数表に記された解釈番号の単位でも集計を行っている。解釈番号は記号+区分の4桁に、さらに項番、枝番の詳細項目があるため、区分、項番、枝番、レセプト電算コードの4階層でSCRを集計した。レセプト電算コードレベルの表示は全項目ではなく、データ数の多いものに限定した。

粒度を在宅診療で例(抜粋)を示すと、

記号	区分	枝番	項番	レセプト電算コード	行為名称
C	005	00	01	114004510	在宅患者訪問看護・指導料(保健師、助産師、看護師・週3日目まで)
C	005	00	01	114010610	在宅患者訪問看護・指導料(保健師、助産師、看護師・週4日目で以降)
C	005	01	01	114026810	同一建物居住者訪問看護・指導料(保健師等1日2人週3日まで)
C	005	01	01	114026910	同一建物居住者訪問看護・指導料(保健師等1日2人週4日以降)
C	005	01	02	114027210	同一建物居住者訪問看護・指導料(准看護)

					師1日2人週3日まで)
C	005	01	02	114027310	同一建物居住者訪問看護・指導料(准看護師1日2人週4日以降)
C	005	01	04	114014170	難病等複数回訪問加算(同一建物居住者)(1日2回)
C	005	01	04	114014270	難病等複数回訪問加算(同一建物居住者)(1日3回以上)
C	005	01	05	114014370	緊急訪問看護加算(同一建物居住者)

最も詳細なレセプト電算コードのレベルでは、個別の診療行為コードの SCR が示される。上記の例では項番のレベルでは C0051 は複数ある「在宅患者訪問看護・指導料」が一つの指標として示される。枝番レベルでは C005-11 から C005-15 が C005-1 として一つの指標として示される。区分レベルでは C005 としてすべての項番以降が一つの SCR として示される。レセプト数の集計なので、複数の項目が該当したとしても、レセプトとしては1件とみなされる。

レセプト電算コードのレベルではレセプト件数の他にも、数量(延べ回数)の集計も可能であるが、項番以上にまとめた項目では数量の集計が意味を持たないため、全体の整合性を考え数量ではなくレセプト件数を集計対象としている。経験的にはレセプト数から集計した SCR と数量から集計した同様の指標はほとんど変わらない。これは月当たりの患者一人当たりの実施数量は大きな地域差はないことを意味するだろう。

診療行為においては、一般には大まかな議論には区分レベル、詳細な議論には枝番レベル以下を利用すると良いが、枝番以降の構成が区分によって異なるため、一律にはいかない。レセプト電算コード以外の SCR の表側に示されている名称は各項目で最も点数の高いものを代表名称として記載しているが、あくまでも代表でありそれ一つを意味するものではないので、それぞれの指標に何が含まれているのか医科点数表を確認した上で使用いただきたい。

外来受診、入院料については、解釈番号の構造が必ずしも現実世界の理解と一致していない場合があるので、独自のマスタを作成し、直感的に理解しやすい切り口で SCR を【特別集計】のシートに提示した。特に特定入院料は DPC/PDPS の場合と出来高の場合で病院種別によって項番が異なるため、単独では全体像が把握できない。そのため、それぞれの特定入院料ごとにマスタを用意し、全体像が把握できる指標を作成した。さらに地域医療構想を意識した項目を用意したが、「高度急性期」は救急救命入院料や集中治療入院料で、看護配置基準 5:1以上の入院料のものである。「急性期」は急性期入院料1~6で、看護配置基準は7:1および10:1である。「回復期」は地域一般入院料、地域包括ケア入院料、回復期リハビリテーション病棟入院料で、看護配置基準は 13:1および 15:1である。慢性期は療養病棟入院料であり、看護配置基準は 20:1および 25:1である。地域医療構想における病床機能報告は病床数の報告であるが、それに稼働率を加味したような指標となっている。

○ 薬剤の粒度

薬剤は個々の商品名・規格のレベルではなく、薬剤の一般名を最小の粒度として SCR を集計し

た。厚生労働省が提供する標準薬剤マスタには薬価基準コードの欄があり、12桁の薬価基準コードの左から7桁が一般名に相当する分類である。ここには後発品も含まれる。7桁分類の名称では最も薬価の高い薬剤を代表名称として記載している。あくまでも代表としての名称であり、その薬剤のみの SCR ではないことに留意いただきたい。なお、生物学的製剤のバイオシミラーは、一般名は先発品と同様であるが、7桁分類は異なる。令和3年度は先発薬とバイオシミラーを合わせた指標も作成した。「4291406\$ トラスツズマブ (BS 含む)」などと表示してあるものが先発品と BS を合わせた SCR である。

使い勝手を考え、薬効分類4桁、3桁、2桁でも SCR を作成しているので、目的に合わせて適切な粒度の SCR を使用していただきたい。

○ 傷病名の利用

H30 年度診療分から5疾病を中心とした一部の傷病名データを取得しているため、令和4年度も傷病名による SCR も算出している。傷病名の集計では「疑い」を除いている。また未コード化病名も対象外である(そもそも提供されない)。

傷病名は2種類の集計をしており、

- 1) 出来高レセプトでは主傷病フラグのある傷病名、DPC レセプトでは最も医療資源を投入した傷病名のみを集計(主病名)
 - 2) 全ての傷病名を重みづけなく扱った集計(全病名)
- である。

同じ傷病名でも全病名では主病名の10倍以上のレセプトがあり、実態に対して主病名では過小評価、全病名では過大評価と思われる。また SCR はそもそも受診月数の多寡に影響されるため、傷病名の SCR の差は必ずしも有病率の差を表すものではないという理解は重要であろう。月ごとのレセプト数をカウントし一年分を合計しているため、3か月ごと受診のように受診間隔が長ければ SCR は低く、毎月受診のように受診間隔が短ければ SCR は高くなる。患者数ではなくレセプト数の指標のため、受診間隔により地域差が生じうる状況である。

出来高レセプトには主傷病フラグがあり、主傷病にフラグを設定するルールだが、必ずしも適切に運用されていないようで、まったく付されていないもの、多数の主傷病フラグが立っているもの、長年において付与されているものなど、必ずしも当該のレセプトを代表するものではない場合がある。レセプトを利用した疾病統計は、まことに悩ましいものがある。

五大癌について、化学療法あるいは放射線治療との組み合わせで SCR を算出した。これは同一のレセプトに五大癌の病名と何らかの化学療法剤の使用、放射線治療があったものが集計対象である。調剤レセプトとの個人単位の突合は行っていないので、院外処方となった内服の抗癌剤は集計対象外である。内服薬については同一レセプトに傷病名と処方薬が記される院内処方のみが集計対象となっている。病名に主傷病フラグがついている場合と、主傷病フラグの有無にかかわらず五大癌の病名があった場合の二種類を集計している(疑い病名は除外)。表の主病名フラグが「01」のものが主傷病名フラグのある病名、あるいは DPC レセプトにおいては最も医療資源を投入した病名である。同一のレセプトに複数の五大癌が登録されているレセプトもあり、この場合はいずれも対象として集計している。DPC/PDPS 制度では肺転移や肝転移も原発癌と同じ分類であるが、

SCR では利用の利便性をたかめるため、転移性腫瘍は別扱いにしている。

放射線治療では原発巣ではなく、転移巣への治療もあるが、今回は転移性か否かは判断していない。胃癌、大腸癌、肝癌に対する放射線治療はまれであるので、これはむしろ転移巣への治療と考えるべきであろう。5大癌は DPC 定義表に準じ、肺癌、肝癌においては当該臓器への転移性癌 (C78*)も含むが、令和3年度は肺癌、肝癌については転移性癌を分離した。

○ 地域割り

SCR は都道府県別、二次医療圏別、市区町村別で作成した。区は東京 23 区及び政令市である。本年度も診療行為の集計では政令市については区別のほかに、市全体としても SCR を計算した。市レベルの比較に使用していただきたい。

NDB の第三者提供では実際の医療機関コードは提供されず、NDB 事務局において匿名化された医療機関コードが付与される。従って、医療機関の地域割は事後には行えず、抽出の際に NDB 事務局で市区町村コード、二次医療圏コードを付与していただいている。

このためのマスタを NDB 事務局は用意しているが、完全ではなく地域割がなされていない医療機関コードもある。レセプトの種別、都道府県により、地域が不明なレセプトの割合はまちまちであるが、レセプト種別では医科レセプト 0.02%、DPC レセプト 0.07%、調剤レセプト 0.01%の不明率であった。都道府県内の不明率が高いほど二次医療圏別、市区町村別の SCR は過小評価となる(都道府県別の SCR は影響を受けない)。Appendix 1 にレセプトの種別、都道府県別の不明率を示す。

不明率は令和3年度と比較して著明に改善し、不明のない都道府県も多いが、一部でいまだに存在している。特定の市町村に偏っていれば、SCR への影響は大きい。医療機関コードや調剤薬局コードはいろいろな理由で変わるものではあるが、正確な地域割のための方策は、今後解決されるべき NDB の課題である。

○ NDB の制約

NDB の一般公開ルールで、人口 2,000 人以下の町村は一切データを示してはいけないルールである。そのため、市区町村別のテーブルで、人口 2,000 人以下の町村は表頭に存在しない。Appendix 2 に非公開の対象町村を示す。

各セルの対象医療機関数が3未満となる場合は公開してはならない NDB ルールがあったが、今年度の公開分から公開可能となった。表には多くの空白があるが、これはその地域ではその項目が一切行われていないか、あるいは行われてはいるが電子レセプトではなく、紙レセプトによる請求のためである。電子化は進んでいるが、医科においては現在でも数量ベースで1%強が紙レセプトである。以下の町村は、人口 2000 名以上で公開対象ではあるが、電子レセプトの存在が確認されない。

表 電子レセプトの存在しない町村

市区町村コード	市区町村名	総人口
01632	河東郡土幌町	5883

02303	東津軽郡今別町	2308
05346	山本郡藤里町	2884
07322	安達郡大玉村	8722
07422	河沼郡湯川村	3065
07544	双葉郡川内村	2330
07546	双葉郡双葉町	5510
08447	稲敷郡河内町	8140
11369	秩父郡東秩父村	2538
16321	中新川郡舟橋村	3271
36321	名東郡佐那河内村	2160
43484	葦北郡津奈木町	4310
43512	球磨郡山江村	3269

これらの町村は SCR の表には存在するが、すべて空白である。

また、繰り返しになるが分析対象は医科保険のみであり、公費単独や労災、自賠責、自費分は含まれない。労災、自賠責、自費分はもともと NDB には提出されず、公費単独は提出されているが、根拠法の違いから第三者提供では提供されない。

○ テーブルの構造

SCR では表頭に地域、表側に項目を持つクロス表形式で提供する。

入外区分は、

- 1 「入院」、
- 2 「外来」、
- 3 「入院+外来」

である。3の「入院+外来」は人工腎臓のように入院でも外来でも行われる医療行為では、外来、入院の個別のみならず、全体で多寡を考えるべきものに対応するため用意した。

結果はそれぞれの集計種別に対して、都道府県別、二次医療圏別、市区町村別の3ファイルがある。

○ 終わりに

全ての患者の流入出の把握が完全ではなく、このデータのみでは医療の多寡を議論するには不十分であるが、我が国の医療提供状況の概況を示すものとして、一部でも利用していただければ幸甚である。

Appendix 1 令和4年度診療分、二次医療圏以下の地域割ができていない割合（不一致率）

	都道府県	種別	全レセプト数	地割不明レセプト数	不明率
01	北海道	医科	39,164,580	10,738	0.03%
		DPC	529,088		0.00%
		調剤	27,257,382	7,703	0.03%
02	青森県	医科	10,298,719		0.00%
		DPC	109,232		0.00%
		調剤	7,545,141		0.00%
03	岩手県	医科	9,853,756		0.00%
		DPC	102,331		0.00%
		調剤	7,100,839		0.00%
04	宮城県	医科	18,809,065		0.00%
		DPC	214,884		0.00%
		調剤	13,364,337		0.00%
05	秋田県	医科	8,265,993		0.00%
		DPC	110,749		0.00%
		調剤	6,029,929		0.00%
06	山形県	医科	9,752,817		0.00%
		DPC	110,028		0.00%
		調剤	6,492,278		0.00%
07	福島県	医科	15,062,447		0.00%
		DPC	157,484		0.00%
		調剤	10,056,858		0.00%
08	茨城県	医科	21,350,507		0.00%
		DPC	218,836		0.00%
		調剤	14,655,917		0.00%
09	栃木県	医科	16,047,439		0.00%
		DPC	174,717		0.00%
		調剤	9,983,583		0.00%
10	群馬県	医科	16,133,452		0.00%
		DPC	172,896		0.00%
		調剤	9,076,122		0.00%
11	埼玉県	医科	53,096,180	191	0.00%
		DPC	495,091		0.00%
		調剤	37,222,427		0.00%
12	千葉県	医科	45,361,652		0.00%
		DPC	502,073		0.00%

		調剤	31,578,403		0.00%
13	東京都	医科	116,939,575	106,275	0.09%
		DPC	1,221,439	6,615	0.54%
		調剤	80,938,089	223	0.00%
14	神奈川県	医科	71,098,531	62,741	0.09%
		DPC	786,121	1,601	0.20%
		調剤	52,644,622	10,664	0.02%
15	新潟県	医科	17,381,647		0.00%
		DPC	201,745		0.00%
		調剤	12,447,857		0.00%
16	富山県	医科	8,178,603	511	0.01%
		DPC	125,077		0.00%
		調剤	4,817,650		0.00%
17	石川県	医科	8,862,440		0.00%
		DPC	125,194		0.00%
		調剤	5,153,760	9,498	0.18%
18	福井県	医科	6,140,501		0.00%
		DPC	78,150		0.00%
		調剤	3,062,771		0.00%
19	山梨県	医科	6,617,874		0.00%
		DPC	63,394		0.00%
		調剤	4,553,941		0.00%
20	長野県	医科	16,446,334		0.00%
		DPC	227,691		0.00%
		調剤	10,813,910		0.00%
21	岐阜県	医科	16,799,328		0.00%
		DPC	183,209		0.00%
		調剤	10,656,322		0.00%
22	静岡県	医科	30,395,470		0.00%
		DPC	338,215		0.00%
		調剤	20,536,791		0.00%
23	愛知県	医科	63,179,228		0.00%
		DPC	678,891		0.00%
		調剤	38,036,078	12,327	0.03%
24	三重県	医科	15,136,762		0.00%
		DPC	165,849		0.00%
		調剤	9,417,380		0.00%
25	滋賀県	医科	10,632,071		0.00%

		DPC	132,398		0.00%
		調剤	7,022,719		0.00%
26	京都府	医科	19,863,580		0.00%
		DPC	258,389		0.00%
		調剤	11,202,754		0.00%
27	大阪府	医科	73,297,878		0.00%
		DPC	920,985		0.00%
		調剤	44,569,719		0.00%
28	兵庫県	医科	46,301,262	101	0.00%
		DPC	521,779		0.00%
		調剤	30,328,653		0.00%
29	奈良県	医科	10,991,637		0.00%
		DPC	137,128		0.00%
		調剤	6,250,181		0.00%
30	和歌山県	医科	8,559,628		0.00%
		DPC	95,046		0.00%
		調剤	4,496,884		0.00%
31	鳥取県	医科	4,561,625		0.00%
		DPC	72,306		0.00%
		調剤	2,869,076		0.00%
32	島根県	医科	5,827,245		0.00%
		DPC	78,432		0.00%
		調剤	4,043,372		0.00%
33	岡山県	医科	15,605,075		0.00%
		DPC	212,624		0.00%
		調剤	8,907,952		0.00%
34	広島県	医科	23,633,930	17,039	0.07%
		DPC	248,926		0.00%
		調剤	16,013,759		0.00%
35	山口県	医科	12,122,781		0.00%
		DPC	139,752		0.00%
		調剤	8,374,932		0.00%
36	徳島県	医科	6,313,511		0.00%
		DPC	70,017		0.00%
		調剤	3,389,032		0.00%
37	香川県	医科	8,385,063		0.00%
		DPC	95,825		0.00%
		調剤	5,256,568		0.00%

38	愛媛県	医科	11,444,205	4,659	0.04%
		DPC	124,791		0.00%
		調剤	6,556,673		0.00%
39	高知県	医科	5,521,316		0.00%
		DPC	71,115	0.00%	
		調剤	3,514,703	0.00%	
40	福岡県	医科	43,343,166		0.00%
		DPC	545,389	0.00%	
		調剤	30,418,395	0.00%	
41	佐賀県	医科	7,390,648		0.00%
		DPC	81,314	0.00%	
		調剤	5,407,977	0.00%	
42	長崎県	医科	11,511,718	27,150	0.24%
		DPC	146,086		0.00%
		調剤	7,971,107		0.00%
43	熊本県	医科	15,592,011		0.00%
		DPC	174,049	0.00%	
		調剤	9,746,461	0.00%	
44	大分県	医科	9,702,853		0.00%
		DPC	116,951	0.00%	
		調剤	6,435,101	0.00%	
45	宮崎県	医科	9,305,818	5	0.00%
		DPC	84,306		0.00%
		調剤	6,454,875		0.00%
46	鹿児島県	医科	13,726,792		0.00%
		DPC	165,330	0.00%	
		調剤	9,060,785	0.00%	
47	沖縄県	医科	9,916,391		0.00%
		DPC	147,473	0.00%	
		調剤	6,652,647	0.00%	
全国		医科	1,023,923,104	229,410	0.02%
		DPC	11,732,795	8,216	0.07%
		調剤	678,386,712	40,415	0.01%

Appendix 2 NDB 公表ルールによる秘匿等

○ 2000 名未満の人口 (R05.1.1 現在) のため非公表の町村

	都道府県		市区町村名	総人口
01	北海道	01391	島牧郡島牧村	1,310
01	北海道	01396	虻田郡真狩村	1,905
01	北海道	01397	虻田郡留寿都村	1,886
01	北海道	01398	虻田郡喜茂別町	1,988
01	北海道	01403	古宇郡泊村	1,491
01	北海道	01404	古宇郡神恵内村	781
01	北海道	01405	積丹郡積丹町	1,815
01	北海道	01409	余市郡赤井川村	1,106
01	北海道	01431	樺戸郡浦臼町	1,642
01	北海道	01437	雨竜郡北竜町	1,667
01	北海道	01472	雨竜郡幌加内町	1,301
01	北海道	01470	中川郡音威子府村	667
01	北海道	01471	中川郡中川町	1,329
01	北海道	01463	勇払郡占冠村	1,394
01	北海道	01485	苫前郡初山別村	1,069
01	北海道	01513	枝幸郡中頓別町	1,565
01	北海道	01518	利尻郡利尻町	1,892
01	北海道	01562	紋別郡西興部村	999
02	青森県	02343	中津軽郡西目屋村	1,272
02	青森県	02425	下北郡風間浦村	1,687
02	青森県	02426	下北郡佐井村	1,732
04	宮城県	04302	刈田郡七ヶ宿町	1,219
07	福島県	07548	双葉郡葛尾村	1,289
07	福島県	07364	南会津郡檜枝岐村	519
07	福島県	07444	大沼郡三島町	1,407
07	福島県	07445	大沼郡金山町	1,791
07	福島県	07446	大沼郡昭和村	1,137
10	群馬県	10366	多野郡上野村	1,054
10	群馬県	10367	多野郡神流町	1,626
10	群馬県	10383	甘楽郡南牧村	1,570
13	東京都	13362	利島村	312
13	東京都	13364	神津島村	1,805
13	東京都	13382	御蔵島村	291
13	東京都	13402	青ヶ島村	168

15	新潟県	15586	岩船郡粟島浦村	328
19	山梨県	19364	南巨摩郡早川町	916
19	山梨県	19422	南都留郡道志村	1,545
19	山梨県	19442	北都留郡小菅村	646
19	山梨県	19443	北都留郡丹波山村	533
20	長野県	20306	南佐久郡南相木村	956
20	長野県	20307	南佐久郡北相木村	667
20	長野県	20409	下伊那郡平谷村	383
20	長野県	20410	下伊那郡根羽村	846
20	長野県	20412	下伊那郡壳木村	488
20	長野県	20413	下伊那郡天龍村	1,110
20	長野県	20414	下伊那郡泰阜村	1,503
20	長野県	20417	下伊那郡大鹿村	917
20	長野県	20429	木曾郡王滝村	671
20	長野県	20448	東筑摩郡生坂村	1,686
20	長野県	20602	下水内郡栄村	1,617
21	岐阜県	21604	大野郡白川村	1,484
23	愛知県	23563	北設楽郡豊根村	969
26	京都府	26463	与謝郡伊根町	1,942
26	京都府	26364	相楽郡笠置町	1,153
29	奈良県	29385	宇陀郡曾爾村	1,307
29	奈良県	29386	宇陀郡御杖村	1,449
29	奈良県	29444	吉野郡黒滝村	620
29	奈良県	29446	吉野郡天川村	1,261
29	奈良県	29447	吉野郡野迫川村	330
29	奈良県	29450	吉野郡下北山村	807
29	奈良県	29451	吉野郡上北山村	453
29	奈良県	29452	吉野郡川上村	1,248
29	奈良県	29453	吉野郡東吉野村	1,561
30	和歌山県	30427	東牟婁郡北山村	404
32	島根県	32527	隠岐郡知夫村	609
33	岡山県	33586	真庭郡新庄村	838
33	岡山県	33643	英田郡西粟倉村	1,362
36	徳島県	36302	勝浦郡上勝町	1,416
39	高知県	39305	安芸郡北川村	1,204
39	高知県	39306	安芸郡馬路村	821
39	高知県	39364	土佐郡大川村	358
39	高知県	39427	幡多郡三原村	1,424

40	福岡県	40448	朝倉郡東峰村	1,898
43	熊本県	43425	阿蘇郡産山村	1,362
43	熊本県	43511	球磨郡五木村	970
44	大分県	44322	東国東郡姫島村	1,810
45	宮崎県	45403	児湯郡西米良村	1,072
45	宮崎県	45429	東臼杵郡諸塚村	1,497
46	鹿児島県	46303	鹿児島郡三島村	361
46	鹿児島県	46304	鹿児島郡十島村	648
46	鹿児島県	46523	大島郡大和村	1,409
46	鹿児島県	46524	大島郡宇検村	1,647
47	沖縄県	47303	国頭郡東村	1,736
47	沖縄県	47359	島尻郡伊平屋村	1,199
47	沖縄県	47360	島尻郡伊是名村	1,278
47	沖縄県	47353	島尻郡渡嘉敷村	690
47	沖縄県	47354	島尻郡座間味村	883
47	沖縄県	47355	島尻郡栗国村	661
47	沖縄県	47356	島尻郡渡名喜村	316
47	沖縄県	47357	島尻郡南大東村	1,165
47	沖縄県	47358	島尻郡北大東村	538
47	沖縄県	47375	宮古郡多良間村	1,072
47	沖縄県	47382	八重山郡与那国町	1,705
